

駅伝大会



やえせ通信

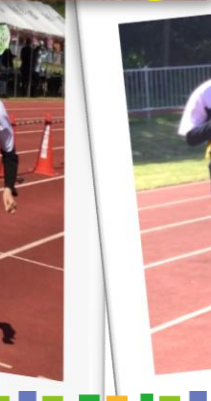
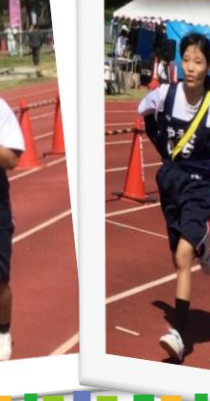
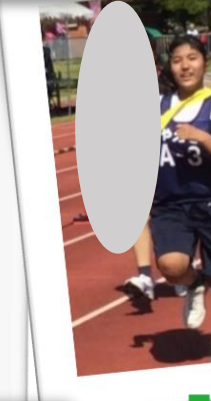
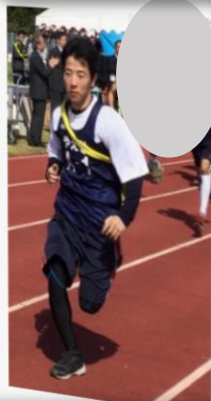
No.16 2017/2/13



去った2/3(金)に行なわれた特別支援学校駅伝競走大会は、やえせ初出場！選手、補員として全員が大会デビューを果たしました。走るのが好きな人にとっても、苦手な人にとっても緊張の大会だったと思います。今まで、そんなに走ったことないよ〜という程、一生懸命、走りました(?!)。う〜ん、そうね…本番ではみんな本当に、それこそ“死ぬ思い”で走っていましたが、結果は残念ながらまさかの最下位。練習不足、力不足、その他諸々の積み重ねの結果がそのまま出た駅伝大会だったと思います。本番までを振り返って見ると、確かに少ない練習時間でしたが、少ないなりに毎時間、一生懸命取り組んだか？死にもぐるいで走ったか？駅伝というチームでの勝負に丸となって臨めたか？途中、走るのを諦めなかったか？等々、反省点がたくさんあります。マラソンは、よく“人生”に例えられますが、みなさんが今まで歩んできた道そのものを垣間見たような駅伝でした。それら諸々の反省点から導かれた結果は、今回の駅伝だけに限らず、全てのことに通じること。そのひとつひとつを今回の経験から気づいてほしい。“結果”には、その人がもともと持っている能力が左右されることも多々ありますが、“過程”から生み出されるものもたくさんあるはず。それなりの意識でそれなりの取り組みしかなければ、当然、結果はそれなりのもの。どれだけの意識をもって、どう取り組んできたかという“過程”を大切に、そこに真剣に向き合うことこそがより良い“結果”をもたらすのだということ、みなさんには学んでほしい。そして、今の自分自身を見つめ直し、前へ進んでほしいと思います。チームとしては最下位でしたが、個人としては輝かしい成果を収めた生徒もいました。最終ランナーの大喜さんが、見事、区間賞2位！前のランナーとの大差をトラック半周にまで縮め、倒れ込むようにゴールした瞬間、会場は感嘆の声と拍手で湧き上がりました。やえせに笑顔が戻り、今までの虚しさが救われた瞬間でした。かなりの差をつけられてたすきを受け取り、独走状態だったので、正に自分との闘いでしたが、本当に素晴らしい走りを魅せてくれました。一生懸命な姿は美しく、みんなに感動と勇気と力を与えてくれました。今回、自分の走りを振り返って、結果を振り返って、他学校のみんなの走りを見て、やえせの生徒一人一人が何かを感じ、次へのステップとして繋げていってくれることを期待しています。*****



開合式騎手↓敬哉
フラカード↓翔



3学期 HR役員

3学期も、もう半ば…報告が遅れましたが、「3学期HR役員」の紹介をします！

「HR長」与那嶺敦哉、「副HR長」前門翔、「書記」仲嶺美来、原一臣、「会計」喜納良太、「6S委員」大城涼、大城怜弥、兼島七菜。「6S委員」は「整理・整頓・清掃・清潔・躰・安全」の頭文字のアルファベット“S”（安全は“Safety”）から「6S」という名がついており、その名の通り、教室の整理整頓、学習環境を整えることをしています。

Coming Soon...

技能検定結果は…

